

サマリア

自分たちが住んでいるところには、どんな人種の人がいるか考えて、つぎの空白に書いてください。

サマリア

サマリアは、イスラエルとユダの国に分裂した時代

に、イスラエルの首都として、南北に走る主要道路に面した丘の上に建設されました。サマリアの住民は、初めから異教の神々に従っていたので、預言者たちは偶像礼拝を非難し、町が滅びると警告していました。特に、紀元前8世紀に活躍したアモスとホセアは、神に従うという約束を守らないと、どのような苦難に会うかを告げましたが、民はその警告を無視し、アツシリアによって滅ぼされました。サマリアの住民たちは、捕囚として連れ去られ、その代りに、アツシリアの地域からの移民が住みつきました。

少数の混血のユダヤ人たちは、サマリアに残り、
ゲリジム山で神を礼拝していました。新約時代、この
人々は「サマリア人」と呼ばれ、ユダヤ人から軽蔑さ
れ、きらわれていました。

フィリポは、6章の記事では、食事の世話をす
るために「七人」の一人に選ばれたと伝えられています
が、サマリア宣教では、使徒として、みことばを語り、
奇跡を行なう宣教師として描かれています。

ペトロとヨハネの派遣は、エルサレム教会が常に
中心的な存在であることを示そうという意図の表
れです。しかし、フィリポの活躍は、エルサレムにと

どまって、ユダヤ教の枠から出ようとしないう使徒た
ちにとって、大きな刺激となっていたことは明らかで
す。

フィリポの働きを通して、私たちも、自分たちの
狭いからを打ちやぶり、新しい世界へ挑戦する勇気
を持つことの大切さを学ぶことができます。

